

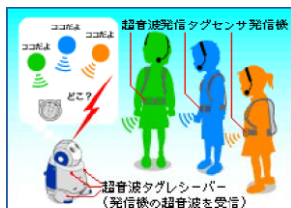
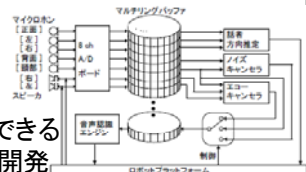
チャイルドケアロボットの開発(日本電気株式会社)

NEDOプロジェクトの技術成果



超音波タグシステムボード
ロボットが子供のIDと位置を認識

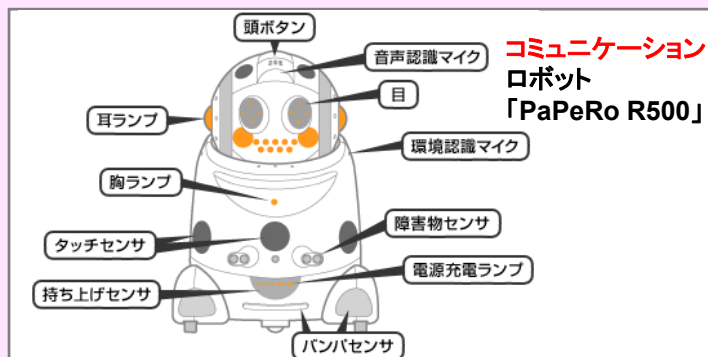
チャイルドケアロボット PaPeRo の音声インタフェース
広範囲なSN比に対応できる適応ノイズキャンセラを開発



パペ点呼

- ・顔識別機能
- ・タグ識別機能
- ・耐雑音音声認識機能
- ・多人数音声認識機能
- ・ネットワークプラットフォーム機能
- ・衝突・保護・安全回避機能、ロボシステム
- ・チャイルドケア機能(インタラクティブライブラリ)

プロジェクト終了後の実用化状況



出典: <http://www.nec.co.jp/products/robot/r500/index.html>

・介護・福祉施設や、幼稚園・中高校・大学に、研究開発中のコミュニケーションロボット「PaPeRo(パペロ)」の新型を開発し、「トライアル有償貸し出し」を始めた

- ・製品名: コミュニケーションロボットPaPeRo
- ・開発した技術名: コミュニケーションロボット技術
- ・上市時期(現在:製品化段階): 2010年
- ・製品のアピールポイント:
21世紀の社会において、子供と接しつつ、見守り、知育、教育などにおいて、子供や保護者、保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生などをアシスト。

将来期待される経済的・社会的効果

- ・技術的革新性により急送力を強化。
- ・成果を新たな製品・サービスに結びつける目途
- ・比較的短期間で新規市場が想定され、大きな成長と経済波及効果が期待。
- ・産業界も資金等の負担を行うことにより、市場化に向けた産業界の具体的な取組が示される
- ・女性の社会進出がより促進され、少子高齢化環境における21世紀の日本社会の健全な発展および維持に寄与できる。
- ・ロボットだけでなく、人間同士や人間と情報を仲介するインタフェースすべてに活用できるものであり、汎用性がある。

- ・プロジェクト名 次世代ロボット実用化プロジェクト
- ・プロジェクト担当部 機械システム技術開発部
- ・実施期間: 2004年～2005年
- ・プロジェクト概要

大きな市場規模が見込まれる掃除ロボット、警備ロボット、チャイルドケアロボット、接客ロボット、次世代インテリジェント車いすのロボットを開発。2005年「愛・地球博」の場において技術実証・試験運用し、今後の産業競争力強化とロボット関連ビジネスの振興、実用化実現に繋げる。

- ・実用化に際してNEDOプロジェクトが役立った点
愛知万博で半年の実証運用により、技術者が、多くの来場者や運営スタッフから、意見や感想を聞くことができた。
- ・NEDOプロジェクトによる追加的な効果
製品の性能・品質がかなり向上した。